



スポーツのチカラ まちのミライ

2030北海道・札幌オリンピック・パラリンピック冬季競技大会が実現すると、
私たちの街・札幌はどのような姿へと変貌を遂げるのでしょうか？
イベントMC、ラジオ番組DJ、ビデオグラファーとマルチに活躍する伊藤大悟（DAIGO）さんにお話を伺いました。

ビデオグラファー、MC、スキーヤー
伊藤大悟（DAIGO）さん

1981年生まれ、札幌市出身。手稲山の麓で育ち、幼少よりスキーを学ぶ。スキーやスノーボードメーカーのPVをはじめとした映像制作や、ラジオ番組のDJ、スポーツイベントのMCなどを行なっている。

次世代に遺すべきスノースポーツ文化
市民みんなで盛り上げていきたい



スノースポーツの楽しさを再発見
雪を楽しむ文化を次世代へつなぐ

雄大な自然のフィールドで、五感を使ってダイナミックに楽しめる。生涯スポーツとして老若男女問わず、世代を超えて夢中になれるのがスノースポーツの魅力です。市街地から1時間以内でグレンデに行ける素晴らしい環境があるのに、積極的に活用しないのは本当にもったいない。スノースポーツ人口が減少傾向にある中で、近年は30〜40代の世代が子どもと一緒にスキーを楽しむ「カムバック組」の姿を見かけることが多くなりました。これは若い頃にスノースポーツに親しんだ親たちが、子どもたちに雪と触れ合う楽しさや、雪を楽しむ文化を伝えていきたいと考えている現れなのではないかと思っています。

オリパラ招致はまたとないチャンス
盛り上げ役となって魅力を伝えたい

スノースポーツは観戦の面白さも魅力のひとつで、海外ではアルペンスキーやスキージャンプの大会に何万人もの観客が集まりお祭りのように盛り上がります。街ぐるみで関わることで経済が活性化し、持続的な文化へ発展しています。札幌でスノースポーツを文化として継承するには、世界的な注目が集まるオリパラは絶好の機会。このチャンスを利用して市民みんなで盛り上げていくことが大切です。僕はスノースポーツに関わるラジオ番組のDJやイベントMCを務めることも多いので、もし冬季オリパラの招致が実現したら、旗振り役となって盛り上げたい。気軽に参加できるイベントや番組を通し、スノースポーツの魅力を伝えて行きたいです。

問い合わせ先

札幌市スポーツ局招致推進部調整課 ☎011-211-3042



食や自然など多くの魅力に恵まれた
「笑顔になれる街」さっぽろをイメージしたロゴです

問い合わせ先

札幌市総務局広報部広報課 ☎011-211-2036